

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2011-95627(P2011-95627A)

【公開日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2011-019

【出願番号】特願2009-251370(P2009-251370)

【国際特許分類】

G 0 2 B	3/00	(2006.01)
G 0 2 B	27/18	(2006.01)
B 4 1 J	2/44	(2006.01)
B 4 1 J	2/45	(2006.01)
B 4 1 J	2/455	(2006.01)
H 0 4 N	1/028	(2006.01)

【F I】

G 0 2 B	3/00	A
G 0 2 B	27/18	A
B 4 1 J	3/21	L
H 0 4 N	1/028	Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月28日(2012.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

物体の倒立像を中間像面上に中間像として形成する第1のレンズと該第1のレンズが形成した中間像の倒立像を結像面上に形成する第2のレンズとからなるレンズ対が、該レンズ対の光軸と直交する方向へ略直線に複数配列されたレンズアレイを有し、

前記第1のレンズの第1主平面と物体面との距離をS01、前記第1のレンズの第2主平面と前記中間像面との距離をS11、前記第2のレンズの第1主平面と前記中間像面との距離をS02、前記第2のレンズの第2主平面と前記結像面との距離をS12としたとき、距離S01の距離S11に対する比が、距離S12の距離S02に対する比に略等しく、前記第1のレンズと前記物体面との間隔が、前記第2のレンズと前記結像面との間隔と異なるように形成されているレンズユニットを用いたLEDヘッド。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項14

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項14】

物体の倒立像を中間像面上に中間像として形成する第1のレンズと該第1のレンズが形成した中間像の倒立像を結像面上に形成する第2のレンズとからなるレンズ対が、該レンズ対の光軸と直交する方向へ略直線に複数配列されたレンズアレイを有し、

前記第1のレンズの第1主平面と物体面との距離をS01、前記第1のレンズの第2主平面と前記中間像面との距離をS11、前記第2のレンズの第1主平面と前記中間像面との距離をS02、前記第2のレンズの第2主平面と前記結像面との距離をS12としたと

き、距離 $S_O 1$ の距離 $S_I 1$ に対する比が、距離 $S_I 2$ の距離 $S_O 2$ に対する比に略等しく、前記第1のレンズと前記物体面との間隔が、前記第2のレンズと前記結像面との間隔と異なるように形成されているレンズユニットを用いた露光装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項15】

物体の倒立像を中間像面上に中間像として形成する第1のレンズと該第1のレンズが形成した中間像の倒立像を結像面上に形成する第2のレンズとからなるレンズ対が、該レンズ対の光軸と直交する方向へ略直線に複数配列されたレンズアレイを有し、

前記第1のレンズの第1主平面と物体面との距離を $S_O 1$ 、前記第1のレンズの第2主平面と前記中間像面との距離を $S_I 1$ 、前記第2のレンズの第1主平面と前記中間像面との距離を $S_O 2$ 、前記第2のレンズの第2主平面と前記結像面との距離を $S_I 2$ としたとき、距離 $S_O 1$ の距離 $S_I 1$ に対する比が、距離 $S_I 2$ の距離 $S_O 2$ に対する比に略等しく、前記第1のレンズと前記物体面との間隔が、前記第2のレンズと前記結像面との間隔と異なるように形成されているレンズユニットを用いた画像形成装置。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項17】

物体の倒立像を中間像面上に中間像として形成する第1のレンズと該第1のレンズが形成した中間像の倒立像を結像面上に形成する第2のレンズとからなるレンズ対が、該レンズ対の光軸と直交する方向へ略直線に複数配列されたレンズアレイを有し、

前記第1のレンズの第1主平面と物体面との距離を $S_O 1$ 、前記第1のレンズの第2主平面と前記中間像面との距離を $S_I 1$ 、前記第2のレンズの第1主平面と前記中間像面との距離を $S_O 2$ 、前記第2のレンズの第2主平面と前記結像面との距離を $S_I 2$ としたとき、距離 $S_O 1$ の距離 $S_I 1$ に対する比が、距離 $S_I 2$ の距離 $S_O 2$ に対する比に略等しく、前記第1のレンズと前記物体面との間隔が、前記第2のレンズと前記結像面との間隔と異なるように形成されているレンズユニットを用いた読み取り装置。